

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 3年 1月27日

協議会名:深谷市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)協同バス	北部定期便: 深谷駅北口～渋沢栄一記念館～深谷駅北口 (車両減価償却費等国庫補助金申請系統)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート、公共交通利用者ヒアリング調査の実施。 ・深谷市地域公共交通網形成計画の基本方針を目指して、深谷市コミュニティバス「くるりん」再編計画に基づいて事業を実施。 ・車椅子利用者数の目標数値の見直しを行った。 	A	計画どおり事業は適切に実施された。	【目標1:利用者数の増加】 (目標)62,477人 (実績)19,139人 【目標2:利用者満足度の向上】 (目標)利用者アンケートで各項目とも前年度調査以上の満足度 (実績)13項目中、2項目達成 【目標3:収支率の向上】 (目標)14.3% (実績)15.7% 【車両取得に係る目標:車椅子利用者数】 (目標)6人 (実績)2人 収支率は目標を達成できたが、利用者数及び利用者満足度、車椅子利用者数は、目標を達成することができなかった。	平成27年度に運行事業の再編を実施してから5カ年以上経過し、市民への定着が進んだ。令和2年4月から定時定路線バスの運行を再編し、利用者数の増加を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の増加により、国の緊急事態宣言が発令されたことにより、不要不急の外出自粛及び学校の休校、テレワークの推進などにより、4月からの利用者が激減したため、利用者数は目標を達成することができなかった。また、利用者満足度は13項目中2項目は前回の満足度を上回ることができたものの、これまでの調査に比べ満足度の向上を図ることができなかった。収支率については、これまでの運賃を1日乗り放題から、4月以降1回乗車200円、定時定路線バスについては、2キロ未満100円、2キロ以上200円と運賃を改定したことにより、目標達成できた。今後も地域における望ましい公共交通ネットワークを示すため、『深谷市地域公共交通網形成計画』や『深谷市コミュニティバス「くるりん」再編計画』にある基本的な考え方により、引き続き自治会における説明会や広報活動を行い、市民のバス利用に対する理解を深め、利用者の増加等に繋がるよう情報提供に努めていく。
花園観光バス(株)	北部シャトル便: ①深谷駅北口～深谷警察署(西)、大寄公民館～渋沢栄一記念館 ②深谷駅北口～新井郵便局前、福寿荘前～新戒 (車両減価償却費等国庫補助金申請系統) 北部デマンド 南部デマンド		A	計画どおり事業は適切に実施された。		
深谷タクシー(有)	岡部デマンド 川本デマンド 花園デマンド		A	計画どおり事業は適切に実施された。		